

平成元年卒業生の
職場定着状況についての
実態調査
結果報告書

平成5年8月

建 設 省
財団法人 建設業振興基金
社団法人 東京建設業協会

平成元年卒業生の
職場定着状況についての
実態調査
結果報告書

平成5年8月

建 設 省
財団法人 建設業振興基金
社団法人 東京建設業協会

調査の目的と概略

1. 調査の目的

産業の基幹中の基幹ともいえる建設業が、今後もその大きな役割を果たし続けるためには、将来を背負って立つ若者の職場定着が必要不可欠な要素であることは衆目の一致するところですが、そのための雇用環境の整備や各種制度の見直しなど、若年者にとって魅力ある建設産業となるために乗り越えなければならない大きな課題は、未だ山積しているのが現状だといえます。

この調査は、こうした問題に的確に対応するための前提条件として、工業高校（または建設関係の学科を持つ高等学校）を卒業した若年者の、就職後の状況や、職場への定着の状況、転職に至った動機などを明らかにすることにより、就業条件の改善をはじめとする企業の受入れ態勢のありかたを検討し、若年者雇用の条件整備と定着の方途を立案するための基礎資料となるよう実施したものです。

2. 調査の実施日

平成5年3月・4月

3. 調査の対象

平成元年度に以下の高等学校を卒業した者。

都立蔵前工業高等学校
都立小石川工業高等学校
都立墨田工業高等学校
都立田無工業高等学校
関東第一高等学校
昭和第一学園高等学校
東京工業高等学校
安田学園高等学校
東京工業大学工学部附属工業高等学校
都立農林高等学校
都立農芸高等学校
都立農業高等学校
都立園芸高等学校

4. 調査結果の概要

調査は、上記の高等学校の建設関連学科を、平成元年3月に卒業した卒業生821名に直接調査書を送付し、卒業後の進路、就職の状況、建設業のイメージなどについての記入を依頼し、各校担当教諭の協力を得て、郵送により回収したものです。

回収された標本数は177で、そのうち10標本は、回答の意図不明、白紙回答などにより無効標本と認められ、これを除いた167標本を基に、分析を行いました。

設問としては、まず卒業後5年間について1年ごとの職業、身分の変化を訊ね、本人がどのような職業、学歴を経てきたかを大まかに掴み、その上で“転職経験者”と“非転職経験者”とを対比させな

がら、就職活動当時の情報源や就職、転職の動機などを探る流れとなっています。

まず、『(2) 転職の経験とそのパターン』を聞く質問では、卒業後建設業に従事し、そのまま定着しているものは47.9%（無効回答を除いた167名を総数とした比率）と意外に多く、建設業内だけでの転職者、26名もあわせると63.4%の者たちが建設業だけを仕事として選んでいることが判明。また、建設業から他の産業へ転職した者は4名と少なく、一度建設業に従事した者は、例え転職するにしても、なんらかの形で建設業と関わりを持った業種を選んでいることがわかりました。さらに、卒業の当時にさかのぼって、『(4) 就職の際の仕事に関する情報源』を訊ねてみると“転職経験者”は『担任の先生（31.9%）』の情報が最も多く、次いで『進路指導の先生（29.7%）』となっており、その他の情報はほぼ10%前後に過ぎず、『先生』が重要な情報源であることがうかがえます。これに対して“転職の経験のない者”は、1・2位こそ“転職経験者”と変わらず先生が占めているものの、『自分で職場見学をした』が33名（27.5%）と多く、また『家族』のアドバイスも19.1%が受け入れており、「自分の目で確かめて、周囲のアドバイスを活かす」といった、若年者の就職に対する姿勢が浮かび上がってきます。

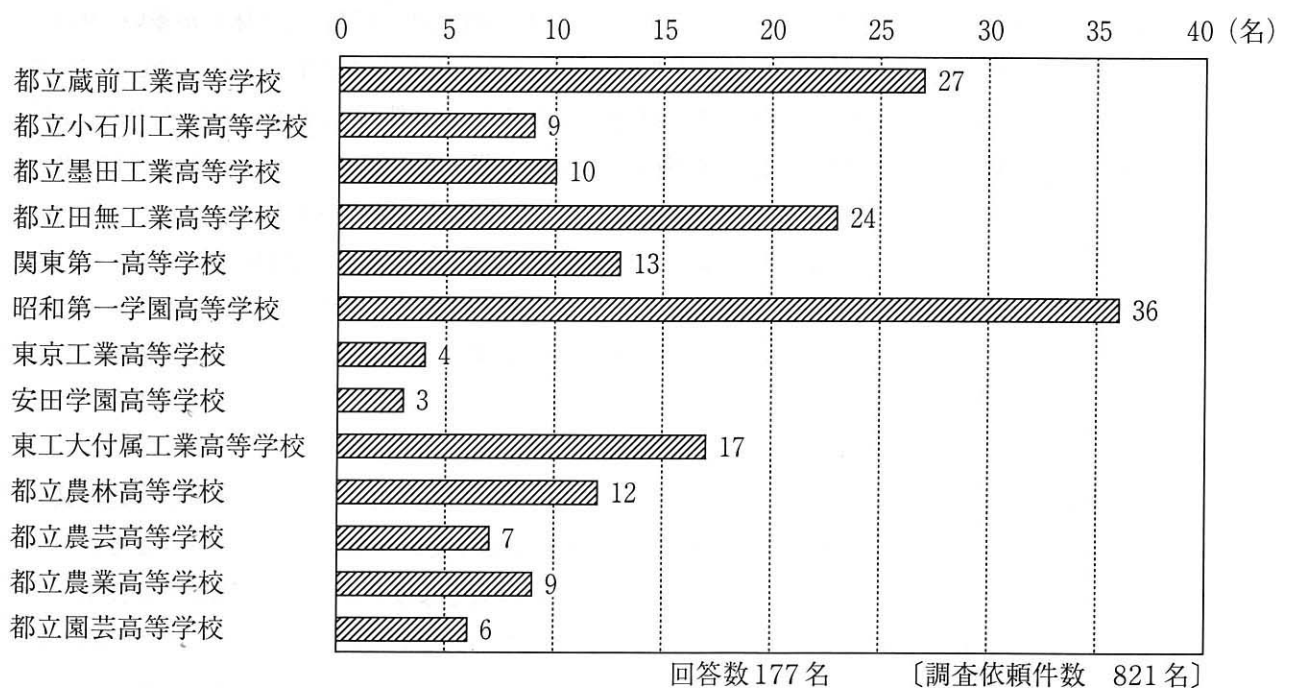
また、『職場見学をした』と答えた者のうち、“転職経験者”に関しては、行った者の半数に当たる3名が『まったく参考にならなかった』と答えているのに対して、“転職の経験のない者”は33名の標本数に対してわずか1名が同様の回答をしているだけであり、このことから、いかに充実した職場見学を体験させることができるかが、職場への定着率アップのひとつの鍵なのだともいえそうです。

次の『(6) 最初に就職先を決定するうえで基準としたこと』の項では、“転職経験者”の優先順位は『自分のやりたい仕事ができそう（18件）』、『会社の将来性（15件）』、『休日が多い（9件）』、『会社の知名度（9件）』という順序で就職先を検討していることがわかります。これに対して“転職の経験のない者”のトップは『自分のやりたい仕事ができそう（40件）』と変わらないものの、2位に『勤務地との距離が適当（32件）』と、『職場環境がいいと思った（25件）』、『会社の将来性（25件）』という優先順位でした。このことを見て、これだけの数字では一概にいえられないものの、『知名度』や『将来性』という、ともすれば掴み所のない指標ではなく、『通勤距離』『職場環境』といった具体的に比較しやすい基準をもって就職に望む若年者の方が定着率は高く、逆にいえば、イメージを宣伝するよりも具体的なメリットを示す方が、より定着率の高い若年者を確保するための方途だともいえるでしょう。

最後に、建設業のイメージについての設問で、『(18) -③建設業に従事する前』の建設業に対するイメージと、その後『(18) -④建設業のイメージがどう変わったか』を比べてみると、マイナスイメージについてもプラスイメージについても全体には大きな変化がなく、『建設業に従事する前もその後も、建設業に対するイメージはそれほど変化しない』という結果がでています。これは、「実際に就職してみたら好印象を持った」といわれる、魅力ある建設業を目指すために、取り組むべき課題を浮き彫りにした調査結果といえます。

調査結果とその分析

(1) 学校別回答数



分析

都内の工業高校及び建設関係学科のある高等学校13校について調査書を送付。回収率は平均で21.6%だった。学校によって回答数にバラつきがあるので学校別の分析は行わなかった。

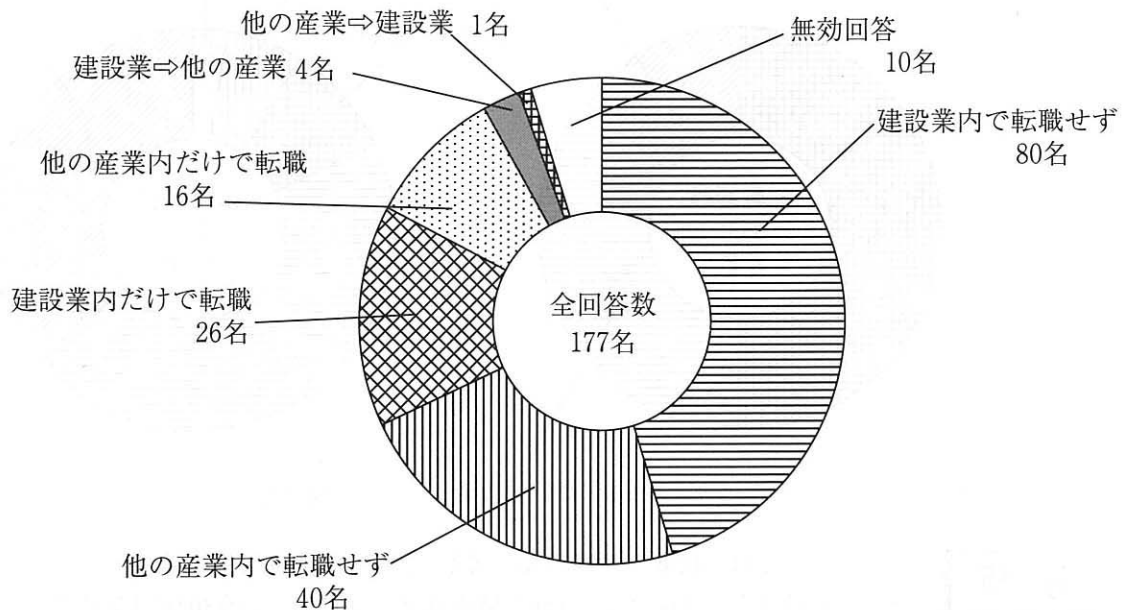
(2) 転職の経験とそのパターン

パターン	回答数
転職の経験無し (総数120名)	
建設業……………	80名
他の産業……………	40名
転職の経験有り (総数47名)	
建設業内だけで転職……………	26名
他の産業内だけで転職……………	16名
建設業⇒他の産業……………	4名
他の産業⇒建設業……………	1名

建設業に従事したことのある者
(総数111名)

この他に考えられる、『建設業⇒他の産業⇒建設業』『他の産業⇒建設業⇒他の産業』のようなパターンの回答は無かった

(3) 職場を変わった経験のある・なし

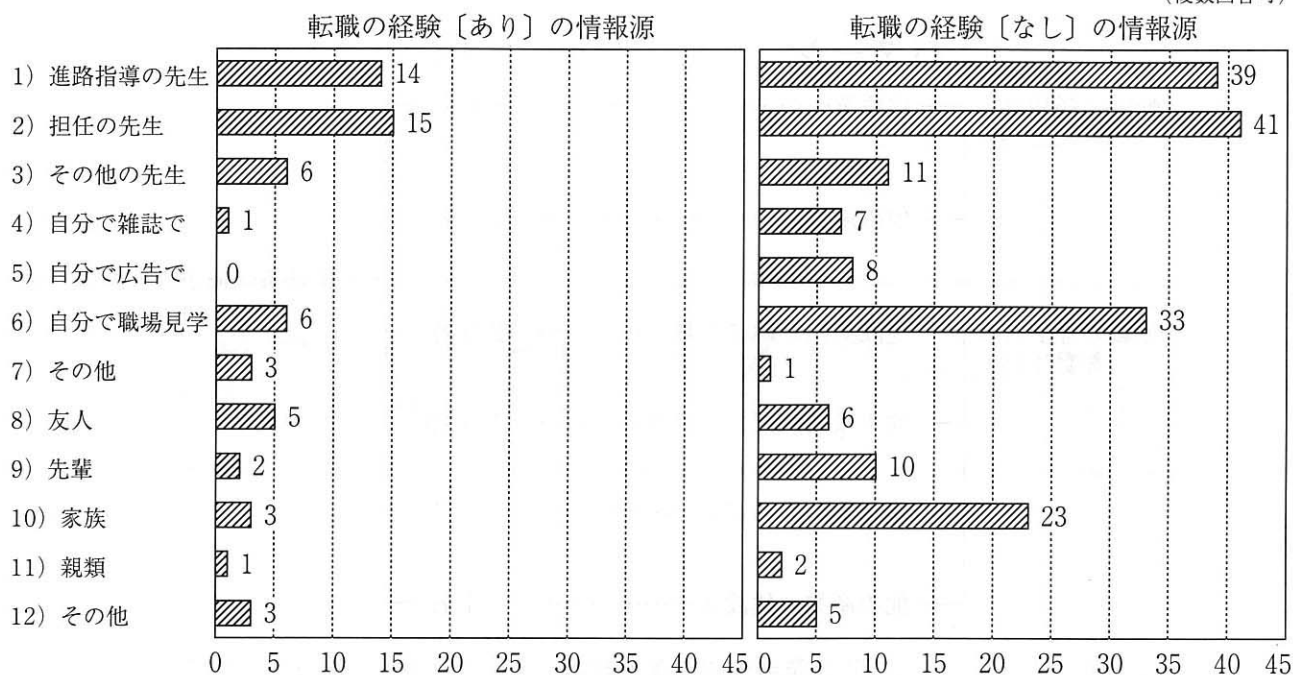


分析

卒業後建設業に従事し、そのまま定着している者は47.9%（無効回答を除いた167名を総数とした比率）と意外に多く、建設業だけの転職者、26名もあわせると63.4%の者たちが建設業だけを仕事として選んでいることになる。また、建設業から他の産業へ転職した者は4名と少なく、一度建設業に従事した者は、例え転職するにしても、なんらかの形で建設業と関わりを持った業種を選ぶ、と数字が示している。なお、無効回答は、調査対象期間中ずっと学生を続けている者など「就職そのものの経験がない者」の回答であった。

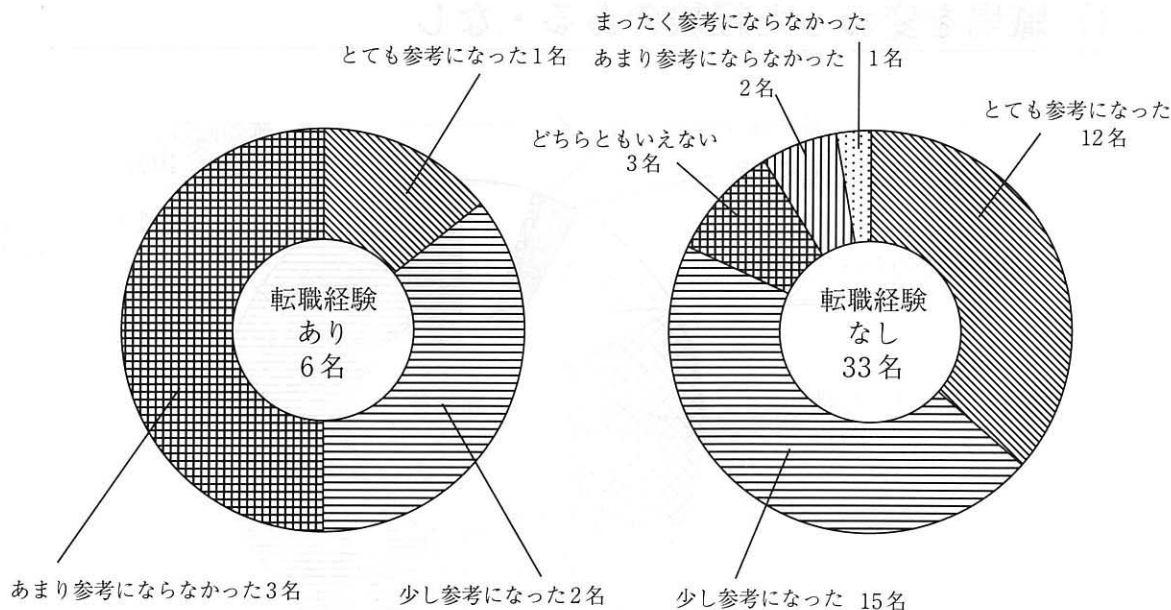
(4) 就職の際の仕事に関する情報源

(複数回答可)



上記の質問のうち、6) 自分で職場見学をしたと回答したものに対して、

職場見学は参考になったか？



分析

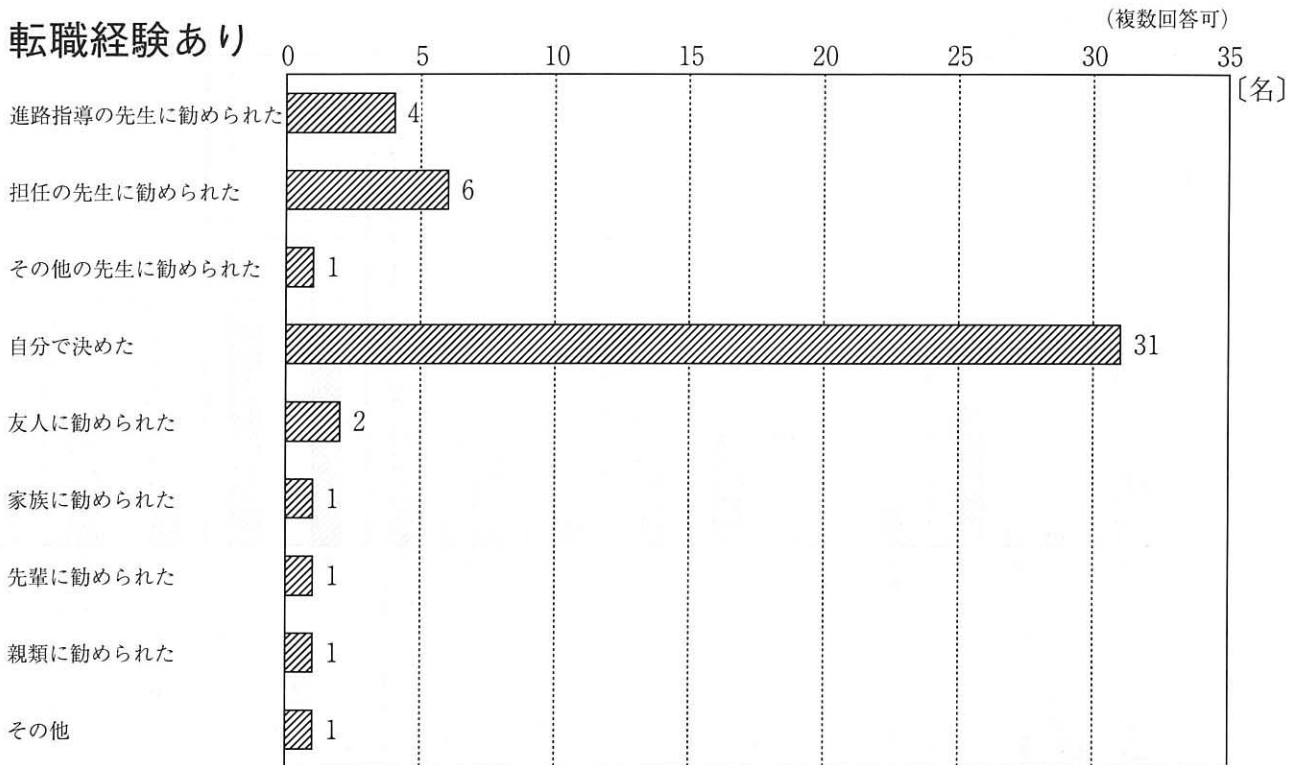
(4)については、転職の経験のない者が「担任の先生」や「進路指導の先生」のアドバイスを活かしながら、『自分で職場見学』をするという積極的なアプローチで情報を収集している点が興味深い。

さらに、その職場見学について、参考になったかどうかきいたところ、転職経験者はその半数にあたる3名が「あまり参考にならなかった」と答えたのに対し、転職の経験がない者では、33名中たった2名が「あまり参考にならなかった」と答えているにすぎない。

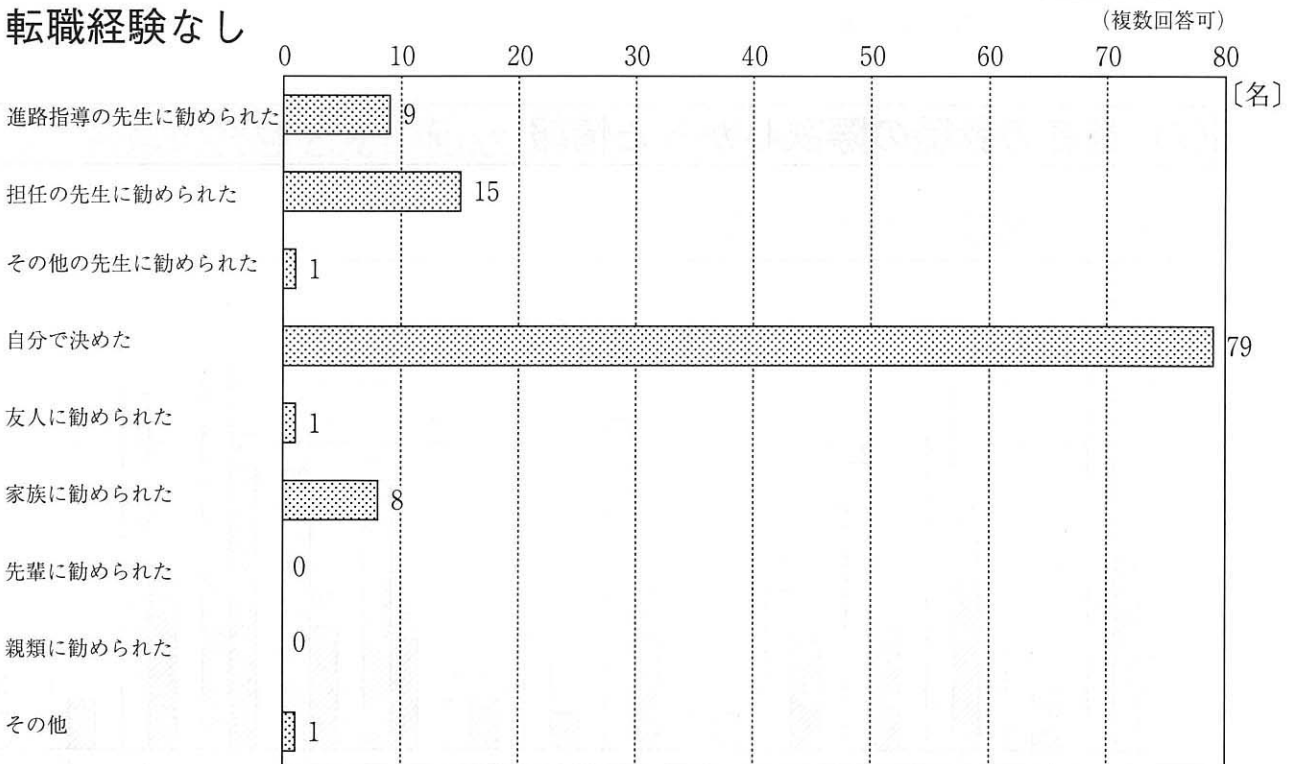
これは、逆に言えば『学生の参考になるような充実した職場見学を行う』ことが定着率の高い労働者を採用するためのひとつの条件であるともいえよう。

(5) 最初に就職先を決定したきっかけ

転職経験あり



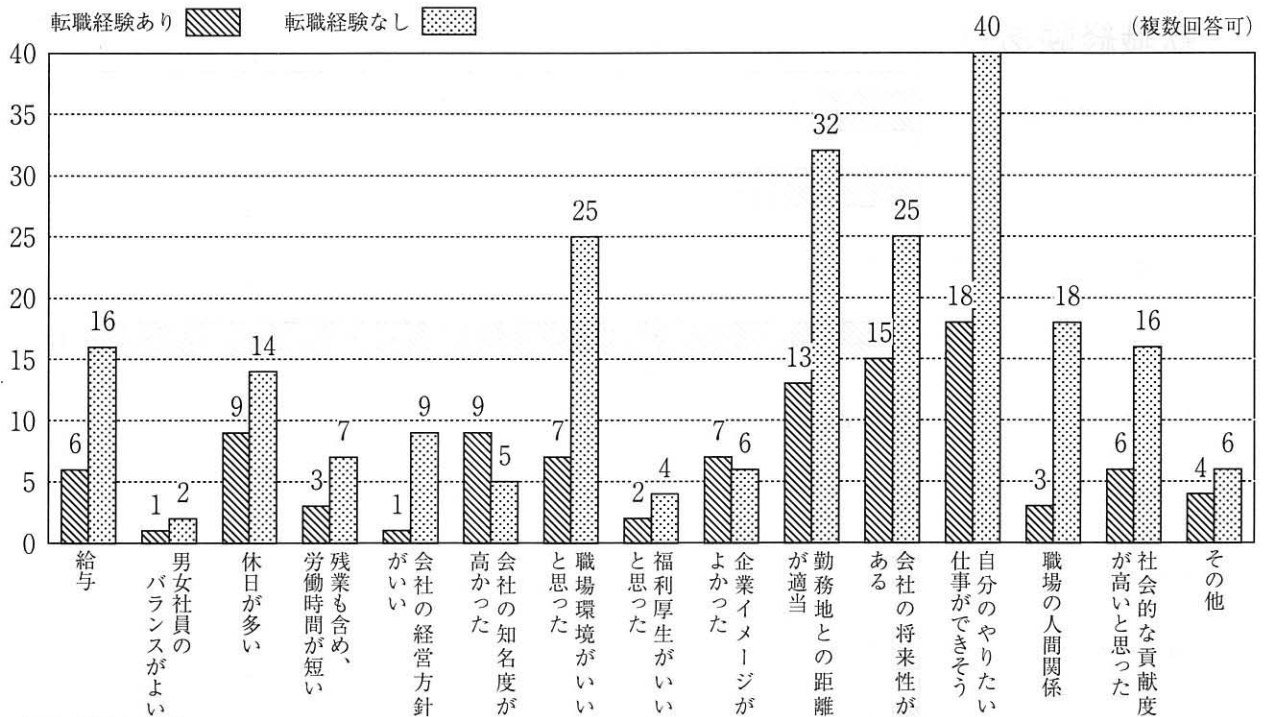
転職経験なし



分析

転職経験のある者についても、ないものについても、『自分で決めた』とする回答が圧倒的に多い（転職経験ありは65.9%、なしは65.8%）。進路指導の先生・担任の先生・その他の先生という『先生の勧め』を総合した回答の、全体に占める割合は、転職経験ありで23.4%、なしの場合20.8%と、若干転職経験者の方が多かった。また、転職未経験者の『家族に勧められた』の8名は、全体に対する割合は6%と少ないが、これには「父親の会社に入った」、「家が建設業をしている」といった但し書きをつけて回答した者があった。

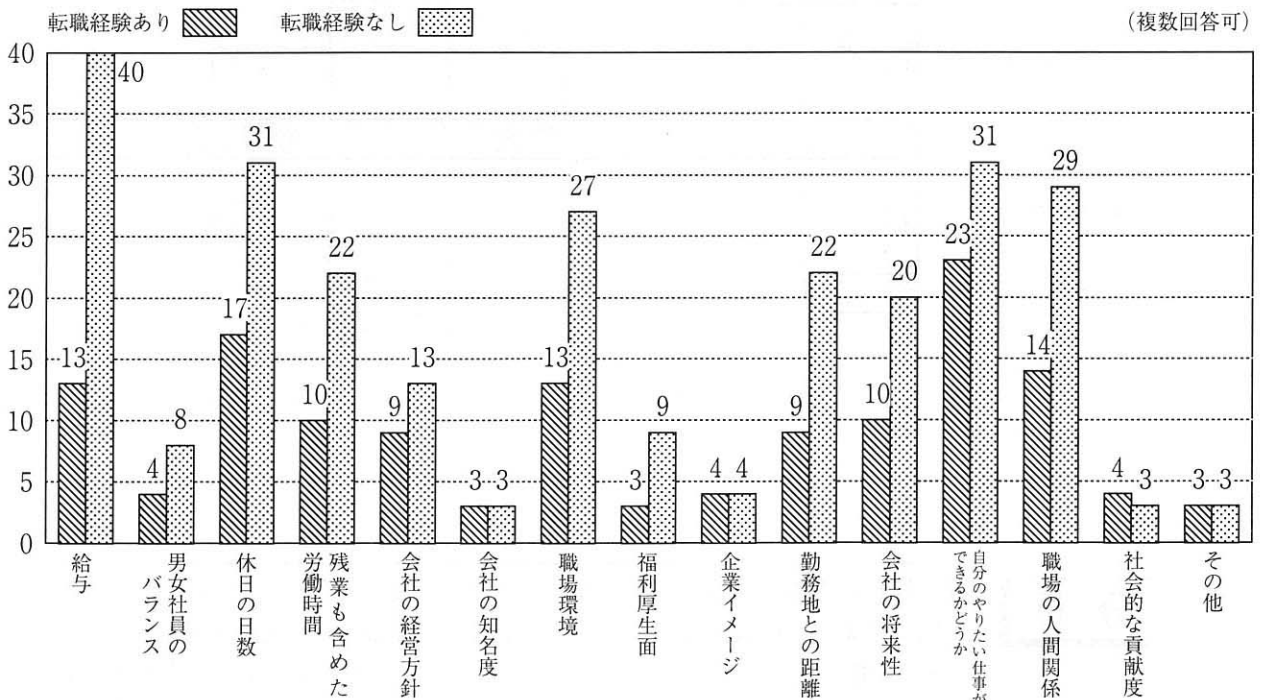
(6) 最初に就職先を決定するうえで基準としたこと



分析

この質問には、就職活動時の心理状況を思い出して回答するよう求めた。就職活動時には、転職経験者も、未経験者もほぼ同様の基準で会社を選んでいったことがグラフから読み取れる。

(7) 最初の就職の際欲しかった情報

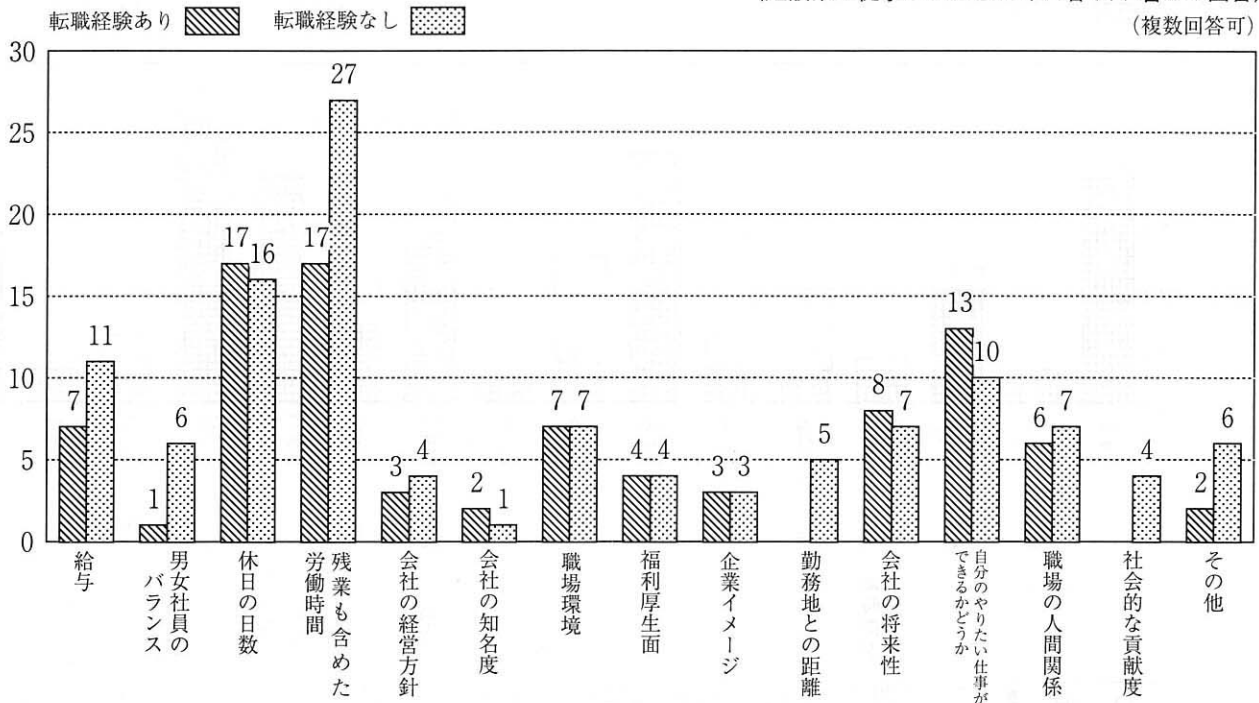


分析

この質問も就職活動時の状態を思い出して回答するよう求めた。(6)のグラフと比較して、給与、休日の日数、職場の人間関係といった回答が多い。とくに転職の経験のない者が「給与」に関する情報を切実に求めていたことがうかがえる。

(8) 就職後、条件や約束と異なっていた点

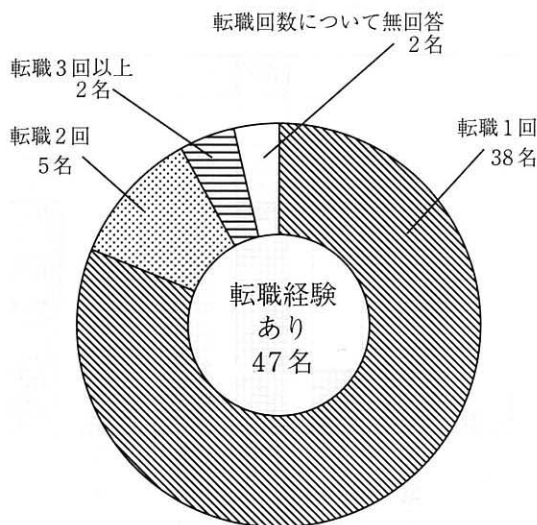
(建設業に従事したことがある者111名のみ回答)
(複数回答可)



分析

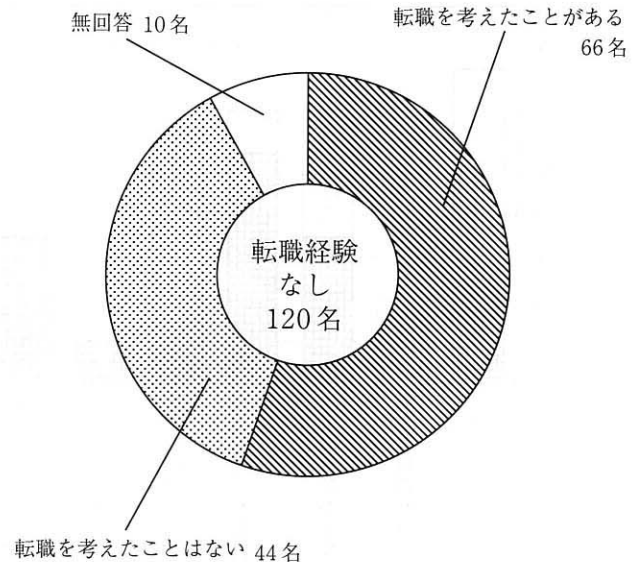
この回答は、建設業の現状をよく表す結果となっている。とくに、『残業を含めた労働時間』『休日の日数』という“余暇”についての回答数が多く、設備や知名度などよりも“労働時間の短縮”こそが必要な課題であることが浮き彫りになっている。

(9) 転職の経験とその回数



(10) 転職未経験者の転職願望

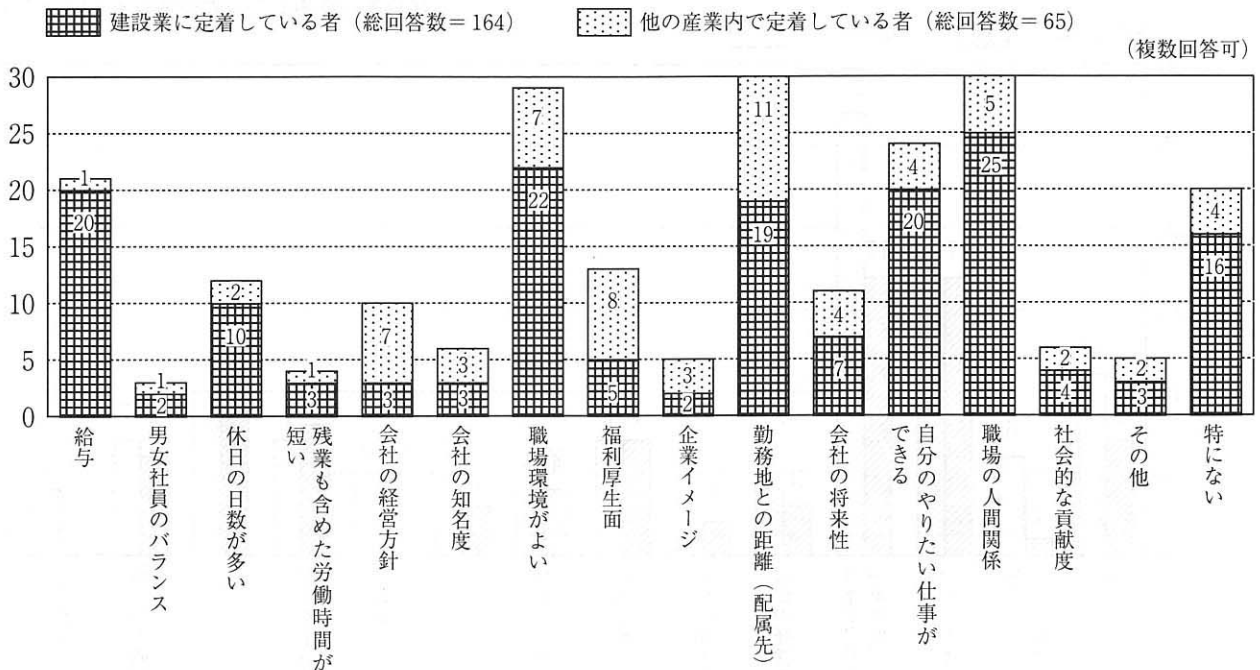
※転職していない者について、これまでに転職を考えたことがあるかを聞いた



分析

(9) については転職の回数を質問。転職1回が全体の80%と多い。(10) については転職願望をきいたが、現在転職していない者でも、その60%に転職願望があるという結果が出た。この数字は転職予備軍がいかに多いかを物語っている。

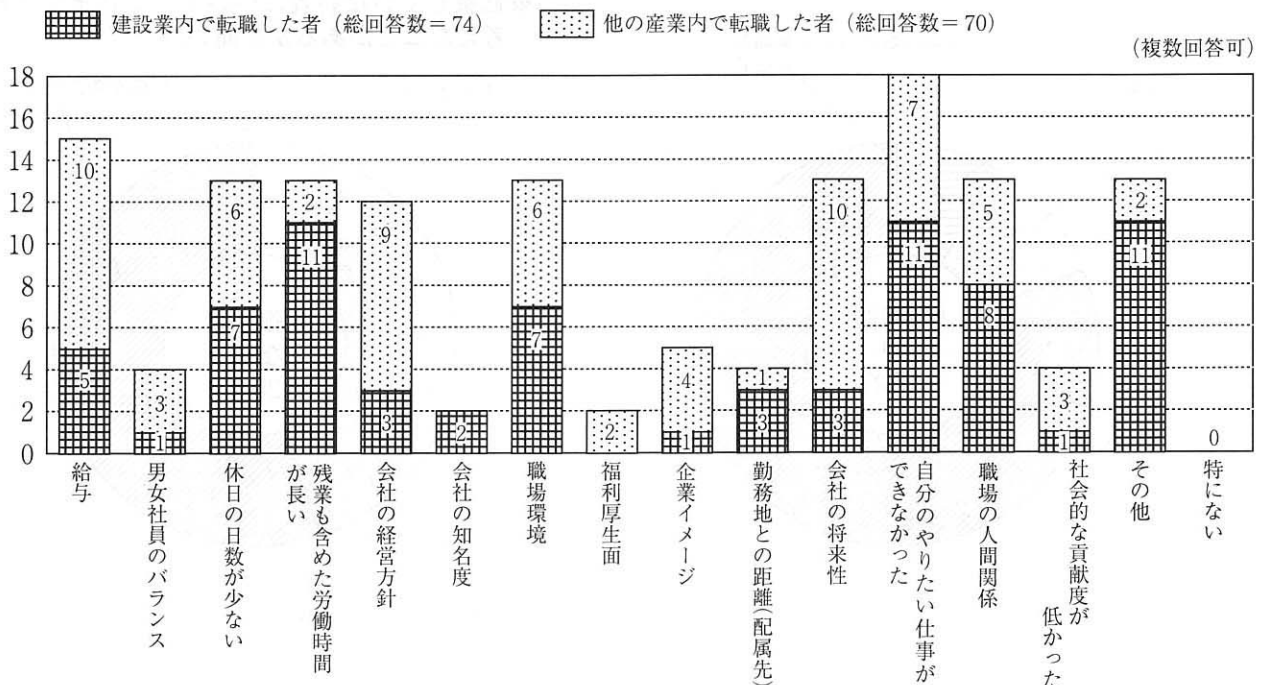
(11) 今の会社に満足している点〔転職しない理由〕



分析

この質問では、現在の会社に定着している理由を聞いた。もっとも多いのが『勤務地との距離』という回答で、続いて『職場環境』であった。『企業イメージ』や『社会的な貢献度』などは低く、広い意味での“職場とその周辺の環境”が定着の理由となっているようだ。

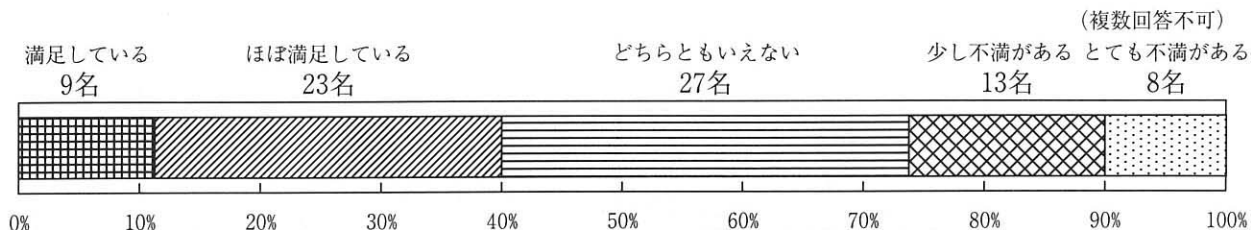
(12) 会社を変わった理由〔転職経験者〕



分析

この質問はまさに、転職理由であるが、その最大の理由は『やりたい仕事ができなかった』というものであることが判明した。また、『休日の日数』『残業も含めた労働時間』という回答も多く、“労働時間の短縮”が定着への必須条件であることもうかがわせている。

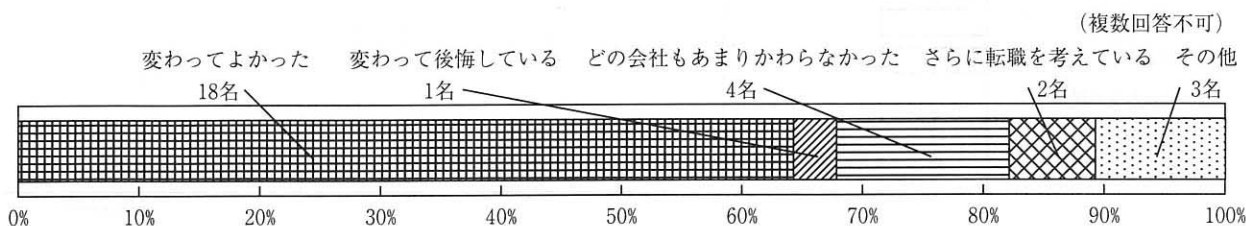
(13) 現在の会社に満足しているか〔建設業に定着した者のみ〕



分析

転職未経験者に会社の満足度を聞くこの質問では、『満足している』と『ほぼ満足している』をあわせ、40%の者が職場に対する満足度が高いことが判った。逆に『少し不満がある』と『とても不満がある』をあわせると26.2%となり、ほぼ4人に1人は職場になんらかの不満を抱きながら仕事をしているという現状が判明した。

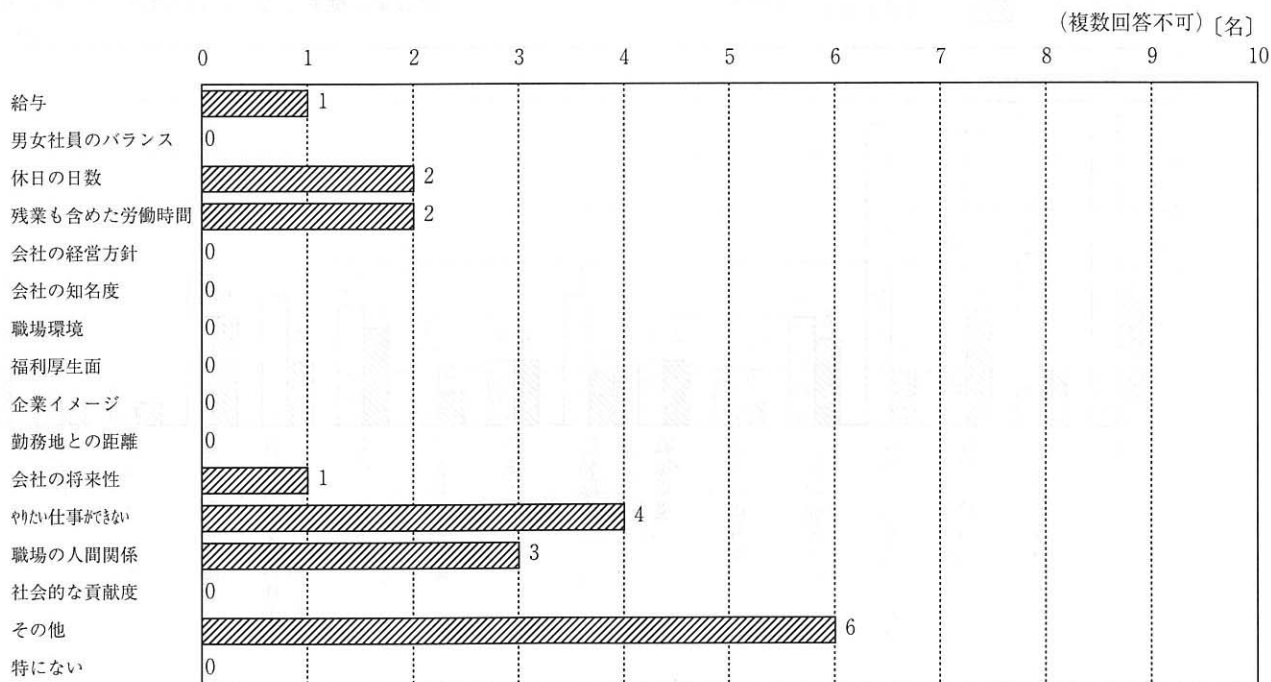
(14) 会社を変った結果 (転職の満足度)〔建設業に従事した転職経験者のみ〕



分析

この質問では、転職経験者に転職の結果に対する満足度を聞いた。『変わってよかった』としているものが60%以上を占め、転職の成功率の高さをうかがわせている。

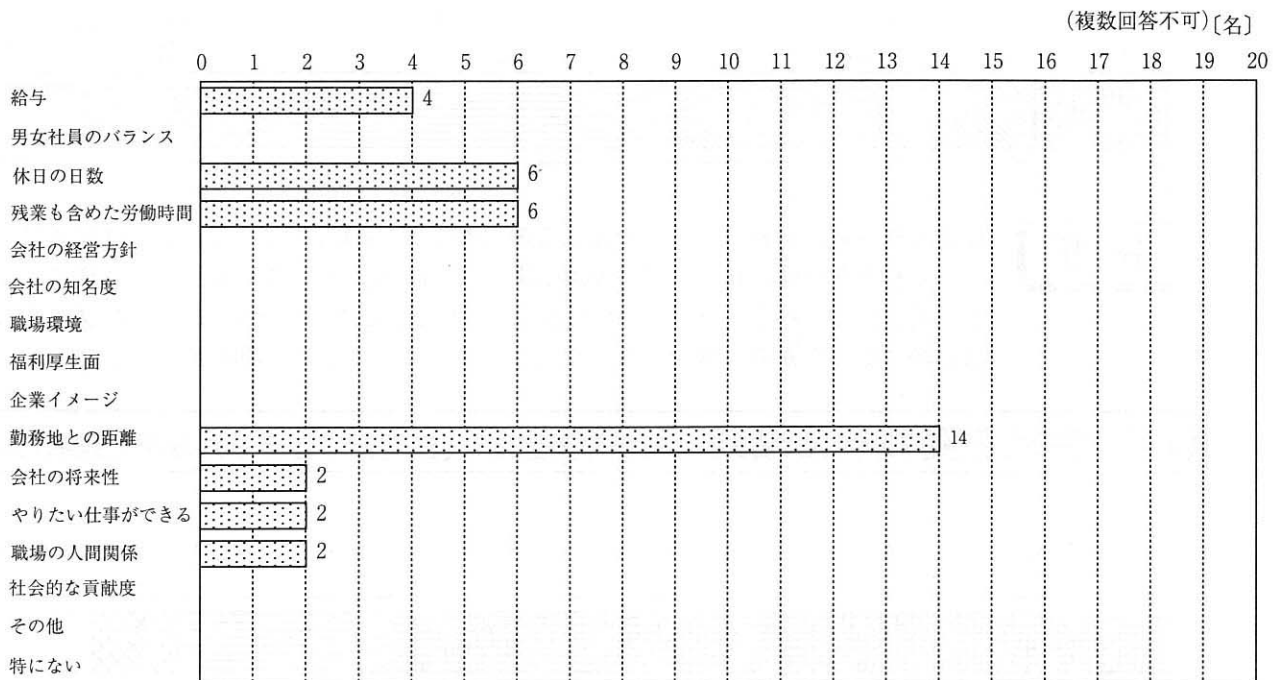
(15) 会社を変った最大の理由〔建設業に従事したことのある転職経験者のみ〕



分析

これは、『会社を変った理由』のなかでも、もっともそう感じたものについて感想を求めた。やはり『やりたい仕事ができない』が多かった。

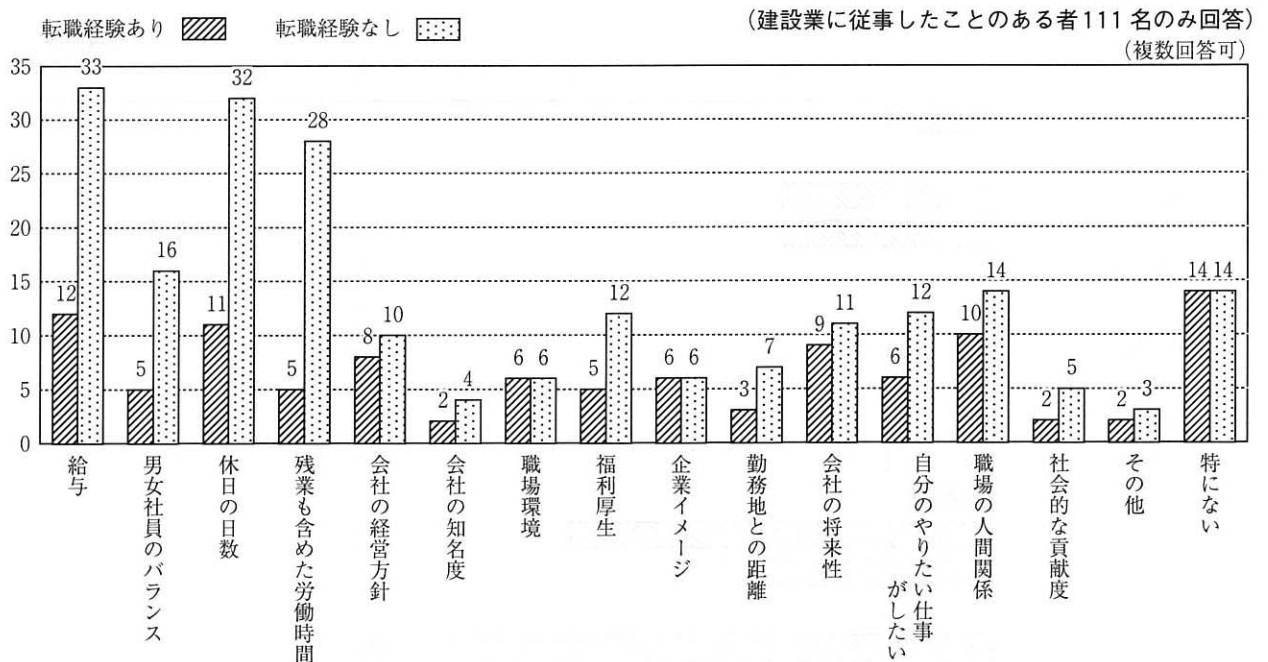
(16) 現在の会社で最も満足している点〔建設業に定着した者のみ〕



分析

この回答にはかたよりが多く、“労働時間”“職場との距離”という2点に集約された。

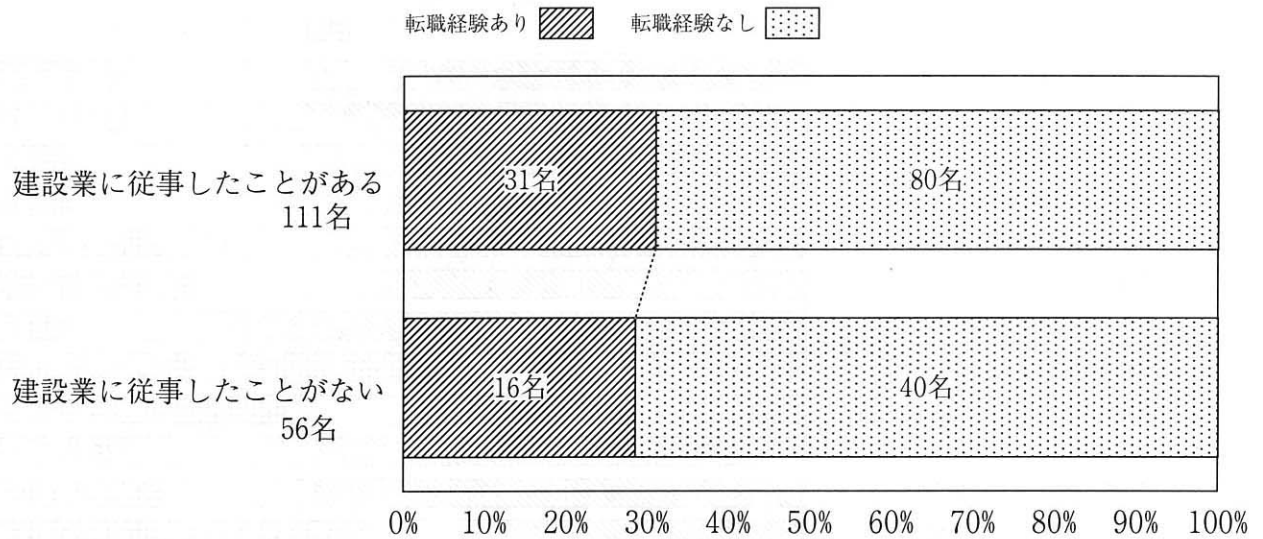
(17) 現在の会社で改善してほしい点



分析

この質問ではじめて『給与』の回答数が注目すべき数となった。とくに転職せず会社に定着しているものにとって『給与』の上昇が一番の関心事であることが判明したといえる。

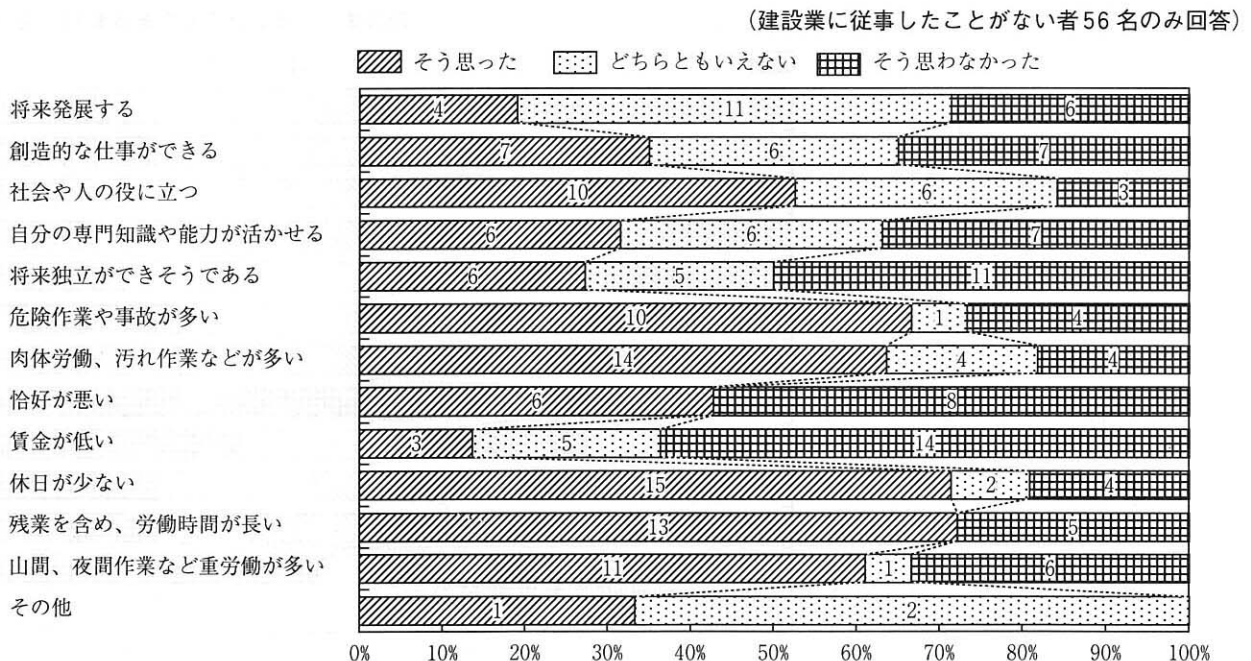
(18) ①建設業に従事した経験と転職の経験



分析

この質問では、“建設業の転職率”を聞いたが、その経験にかかわらず（建設業も他産業も）ほとんど同じ比率で転職が発生していることが読み取れる。

(18) ②建設業のイメージ〔高校在学中〕

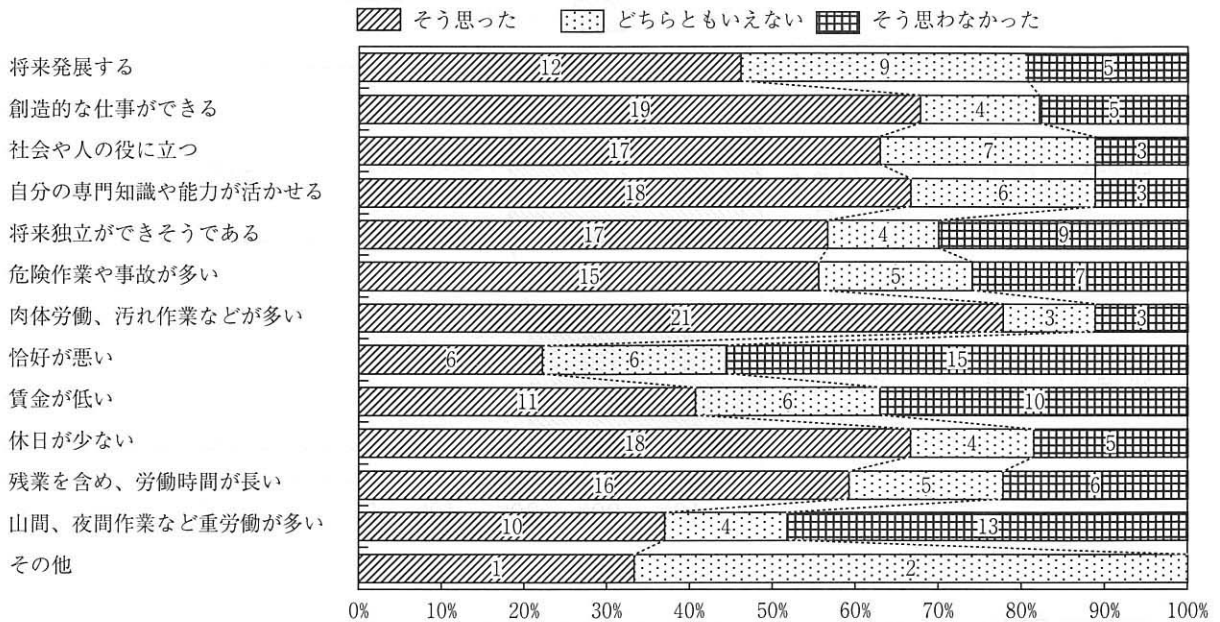


分析

予想されるとおり、マイナスイメージのなかでは『肉体労働、汚れ作業などが多い』『危険作業や事故が多い』『休日が少ない』『残業を含め、労働時間が長い』という回答が多かった。しかし、プラスイメージでは『社会や人の役に立つ』『創造的な仕事ができる』という回答も多く、建設業の役割や使命については理解されているものと思われる。

(18) ③建設業のイメージ〔建設業に従事する前〕

(建設業に従事したことがある者111名のみ回答)

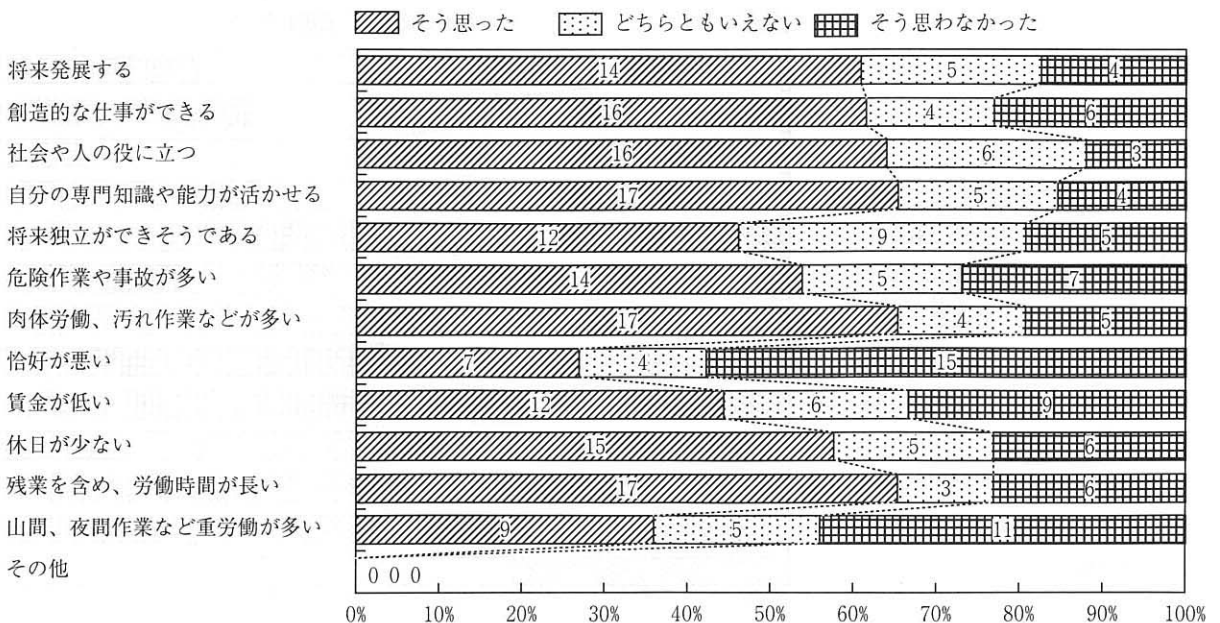


分析

この質問では、建設業に従事した者に対して、建設業に従事する前（建設業を実際に体験する前）にどのようなイメージがあったかを聞いた。『社会や人の役に立つ』『創造的な仕事ができる』『自分の知識や能力が活かせる』といったプラスイメージが多いのに対し、『肉体労働、汚れ作業などが多い』『休日が少ない』などのマイナスイメージを持ったまま建設業に従事した者も多かったことが判明した。

(18) ④建設業のイメージがどう変わったか

(建設業に従事したことがある者111名のみ回答)



分析

この質問では、建設業に従事した者が、建設業を実際に体験して、どのようにイメージを変えたかを聞いた。プラスイメージのうち『将来発展する』という回答が〔建設業に従事する前〕と比較して伸び、『休日が少ない』『肉体労働、汚れ作業などが多い』というマイナスイメージが減っている。これは、実際の経験の中で、建設業に対するイメージが少しずつながらアップしていることを物語っている。

平成元年卒業生の 職場定着状況調査書

平成5年3月調査 若年建設従事者入職促進協議会

都立蔵前工業高等学校

都立小石川工業高等学校

都立墨田工業高等学校

都立田無工業高等学校

関東第一高等学校

昭和第一学園高等学校

東京工業高等学校

安田学園高等学校

東京工業大学工学部附属工業高等学校

都立農林高等学校

都立農芸高等学校

都立農業高等学校

都立園芸高等学校

●調査の目的

この調査は、平成元年3月に工業高等学校等を卒業した皆さんの、就職の状況や、職場への定着の状況、転職に到った動機などを明らかにすることにより、就業条件の改善をはじめとする企業の受入れ態勢のありかたなどを検討することを目的に実施するものです。

また、この調査は目的以外に使用されることはなく、皆さんの個人情報他へ洩れるなどの不利益が生じることはありません。今後のよりよい就業条件整備という調査の目的を十分に理解され、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

出身高等学校名	卒業学科	氏名	性別
立 高校	科		<input type="checkbox"/> 男・ <input type="checkbox"/> 女

※〔 〕内には必要事項を記入し、□内には該当する項目に✓印をしてください。

1. 平成元年以降1年ごとのあなたの職業、または身分についてお答えください。

(以下に示す時点でのあなたの状況を○で囲み、5年間を線で結んで下さい)

平成元年 4 月	平成 2 年 4 月	平成 3 年 4 月	平成 4 年 4 月	現 在
総合工事業	総合工事業	総合工事業	総合工事業	総合工事業
専門工事業	専門工事業	専門工事業	専門工事業	専門工事業
設 計	設 計	設 計	設 計	設 計
公 務 員	公 務 員	公 務 員	公 務 員	公 務 員
その他の職業 〔 〕	その他の職業 〔 〕	その他の職業 〔 〕	その他の職業 〔 〕	その他の職業 〔 〕
大 学 生	大 学 生	大 学 生	大 学 生	大 学 生
短 大 生	短 大 生	短 大 生	短 大 生	短 大 生
専門学校生	専門学校生	専門学校生	専門学校生	専門学校生
無 職	無 職	無 職	無 職	無 職
そ の 他	そ の 他	そ の 他	そ の 他	そ の 他

(注) ここでいう設計とは設計コンサルタント、設計事務所などです。

2. 最初の就職の際、仕事に関する情報はどこから得ましたか？ (複数回答可)

(1)学校の先生

- A. 進路指導の先生
 B. 担任の先生
 C. その他の先生

(3)□友人

(4)□先輩

(5)□家族

(6)□親類

(2)自分で集めた

- A. 雑誌
 B. 広告
 C. 職場を見学⇒2-①へ
 D. その他〔 〕

(7)□その他〔 〕

11. 現在の職場で改善してほしい点がありますか？

(複数回答可。最もそう感じたものには

◎をつけてください)

- (1) 給与
- (2) 男女社員のバランス
- (3) 休日の日数
- (4) 残業を含めた労働時間
- (5) 会社の経営方針
- (6) 会社の知名度
- (7) 職場環境
- (8) 福利厚生 (寮、保養所など) 面
- (9) 企業イメージ
- (10) 勤務地との距離 (配属先)
- (11) 会社の将来性
- (12) 自分のやりたい仕事をしたい
- (13) 職場の人間関係
- (14) 社会的な貢献度
- (15) その他 []
- (16) 特にない

15. 現在の職場で改善してほしい点がありますか？

(複数回答可。最もそう感じたものには

◎をつけてください)

- (1) 給与
- (2) 男女社員のバランス
- (3) 休日の日数
- (4) 残業を含めた労働時間
- (5) 会社の経営方針
- (6) 会社の知名度
- (7) 職場環境
- (8) 福利厚生 (寮、保養所など) 面
- (9) 企業イメージ
- (10) 勤務地との距離 (配属先)
- (11) 会社の将来性
- (12) 自分のやりたい仕事をしたい
- (13) 職場の人間関係
- (14) 社会的な貢献度
- (15) その他 []
- (16) 特にない

16. 最後に、あなたの建設業に対するイメージについてうかがいます。いままでに建設業に従事したことのない人は16-①だけに、従事したことのある人は16-②と16-③に、それぞれお答えください。

今までに建設業に従事したことが ない ⇒ このページの16-①へ

ある ⇒ 次のページの16-②と16-③へ

16-①. あなたは高校在学中に、建設業に対して、どのようなイメージをお持ちでしたか？

(次の項目についてどう思ったかをお答えください)

- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| (1) 将来発展する | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (2) 創造的な仕事ができる | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (3) 社会や人の役に立つ | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (4) 自分の専門知識や能力が活かせる | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (5) 将来独立ができそうである | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (6) 危険作業や事故が多い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (7) 肉体労働、汚れ作業などが多い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (8) 恰好が悪い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (9) 賃金が低い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (10) 休日が少ない | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (11) 残業を含め、労働時間が長い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (12) 山間、夜間作業など重労働が多い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (13) <input type="checkbox"/> その他 [] | | |] と思った |

※以下の質問には、実際に建設業を経験した人だけお答えください。

16—②. 建設業に従事する前の建設業のイメージはどのようなものでしたか？

(次の項目についてどう思ったかをお答えください)

- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| (1)将来発展する | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (2)創造的な仕事ができる | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (3)社会や人の役に立つ | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (4)自分の専門知識や能力が活かせる | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (5)将来独立ができそうである | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (6)危険作業や事故が多い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (7)肉体労働、汚れ作業などが多い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (8)恰好が悪い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (9)賃金が低い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (10)休日が少ない | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (11)残業を含め、労働時間が長い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (12)山間、夜間作業など重労働が多い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (13) <input type="checkbox"/> その他〔 | | | 〕と思った |

16—③. その後建設業に従事して、どのようにイメージがかわりましたか？

(次の項目についてどう思ったかをお答えください)

- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| (1)将来発展する | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (2)創造的な仕事ができる | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (3)社会や人の役に立つ | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (4)自分の専門知識や能力が活かせる | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (5)将来独立ができそうである | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (6)危険作業や事故が多い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (7)肉体労働、汚れ作業などが多い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (8)恰好が悪い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (9)賃金が低い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (10)休日が少ない | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (11)残業を含め、労働時間が長い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (12)山間、夜間作業など重労働が多い | <input type="checkbox"/> そう思った | <input type="checkbox"/> そう思わなかった | <input type="checkbox"/> どちらともいえない |
| (13) <input type="checkbox"/> その他〔 | | | 〕と思った |

以上です。ご協力ありがとうございました。

平成元年卒業生の
職場定着状況についての
実態調査
結果報告書

平成 5 年 8 月

建 設 省
財団法人 建設業振興基金
社団法人 東京建設業協会

